

NTT is...

2013
spring

春

この絵はNTTの海外拠点がある国をイメージしています。どこの国かは14ページをご覧ください。





代表取締役副社長
かた やま やす よし
片山 泰祥

NTTグループの技術戦略を統括する
片山副社長に、
NTTグループの研究開発 (R&D) 戦略について
聞きました。

Q 2012年11月8日公表の新中期経営戦略「新たなステージを目指して」を踏まえた、NTTのR&Dの今後の取り組みをお聞かせください。

A 情報通信市場は様々な変化を遂げています。2012年11月に公表した新中期経営戦略では、グローバル・クラウドサービスを事業の基軸にすることや、ネットワークサービスの競争力を徹底的に強化することにより、収益構造を変革し、今後もNTTグループがお客様に選ばれ続ける“バリューパートナー”となることを掲げています。NTTのR&Dもこの基本方針に沿って取り組んでいきます。

グローバル・クラウドサービスを事業の基軸に
グローバル・クラウドサービスを強化するために、まずは国内のR&D体制を2012年4月に整備しました。具体的には、安心・安全なクラウドサービスを実現するためのセキュリティに関する研究開発に特化した「セキュアプラットフォーム研究所」を新たに設けました。また、効率的にソフトウェア投資を行うとともにソフトウェア開発技術そのものを進化させることを目指し、各研究所に分散していたクラウド技術者とソフトウェアの基本技術者を再結集させた「ソフトウェアイノベーションセンタ」を設置しました。これらの研究所では、クラウドサービスのためのセキュリティ技術やビッグデータ分析技術を中心に研究しています。セキュリティ技術につ

いては、クラウド上のデータの盗難や消失からデータを保護する秘密分散基盤、データの操作や移動を調査・追跡するフォレンジックスなどの研究開発を進めています。また、ビッグデータ分析では、絶え間なく流れてくる大量のデータに対応するリアルタイム分析基盤Jubatusや自然言語処理技術などの研究開発に取り組んでいます。

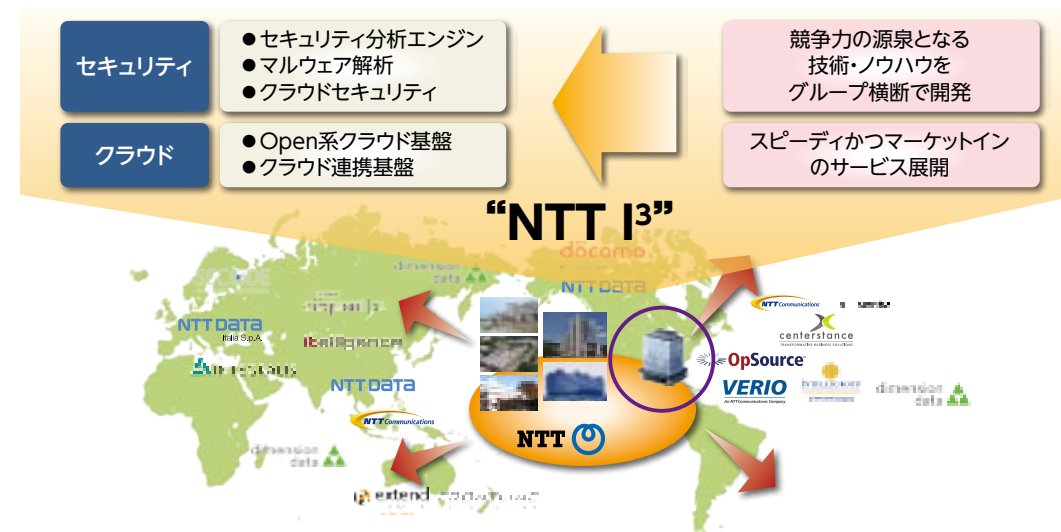
また、お客様企業のグローバルな活動を支えるサービスの拡大に合わせて、研究開発もグローバル展開を進めています。2013年4月には、ICT (情報通信技術) に関する情報・研究開発が集中している北米において、R&D拠点の拡大・強化を図るため、新会社「NTT Innovation Institute Inc.」[呼称:NTT I³ (アイキューブ)] を設立します。

「まだ形ができていないもの」、「何か新しいも

の」を生み出そうとするときには、場所の問題は大事です。北米には、シリコンバレーに代表されるように、先進的な試みをしている企業が集まっています。風土や規制の問題なども考慮し、創造的な刺激が受けられる場所なら、次のステージに立つための努力が存分にできると考えています。

この北米のR&D拠点では、NTT (持株会社) の研究所だけでなく、これまでに買収した企業やグローバルに研究開発を行っているNTTグループ会社とも連携し、グループ全体でセキュリティの研究開発を行う体制を構築したいと思います。スタート時点の資金として1億USドルを予定しており、当初は30名規模から始め、現地採用も積極的に実施し、できるだけ早期に100名規模の体制を整えていきます。

■北米R&D拠点の創設



ネットワークサービスの競争力を徹底的に強化

R&D部門として、NTTグループが保有するネットワークに関連する設備投資や費用を削減するための研究開発にしっかりと取り組みます。加えて、お客様視点での一番使い勝手の良いネットワーク構成と、事業者視点での費用対効果の一番高いネットワーク構成の両面から、固定通信・移動通信のシームレス（境目のない）な新しいネットワーク構成に関する研究開発に取り組んでいきます。

具体的な研究成果の一例として、アクセス系ネットワークについては、光通信に用いる世界最高密度の屋外配線用多心光ファイバケーブル

の開発が挙げられます。高密度実装を実現するために新たに開発した光ファイバテープと、曲げによる光損失を抑制した光ファイバを用い、これまでのケーブル構造を抜本的に見直すことにより、光ファイバケーブル内の実装密度を極限まで高めることに成功しました。光ファイバケーブルの高密度化に伴う軽量化および細径化により、敷設作業の効率向上や光ファイバケーブル敷設スペースの有効利用などにより、ネットワークに関連する設備投資や費用の削減が期待されます。また、コアネットワークについては、1チャンネルあたり毎秒100ギガビット級の光伝送方式の商用化に続き、世界最高水準の

400ギガビット級光伝送技術の実用化に向けた共同研究開発に着手しています。これにより、超高速かつ低消費電力で柔軟性を兼ね備えた経済的なネットワークの実現を目指していきます。

その他のNTTのR&Dの課題と取り組みについてお聞かせください。

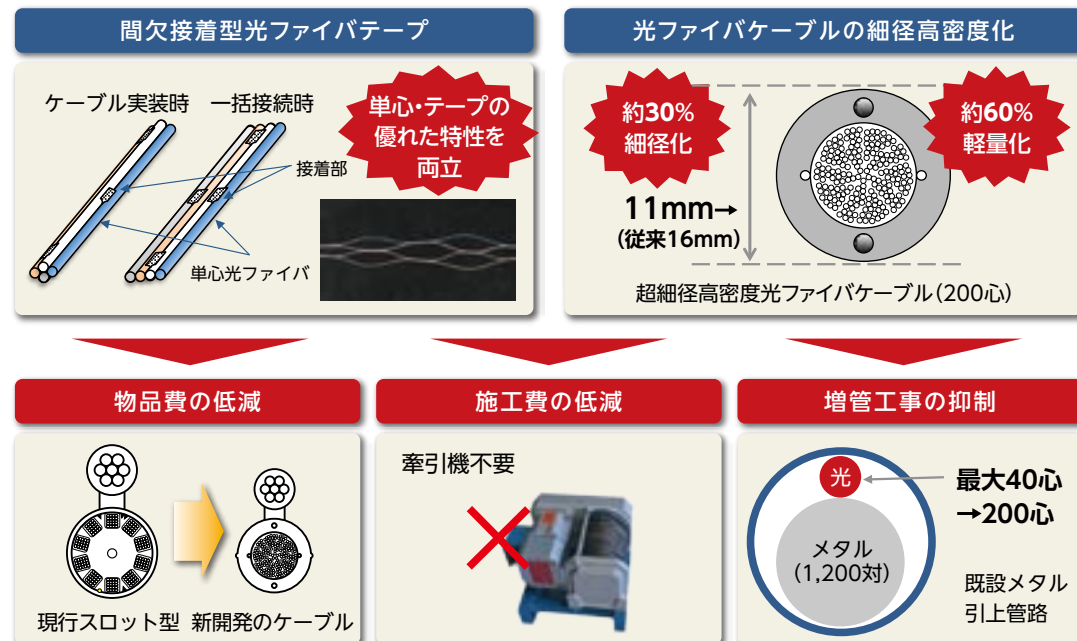
エネルギー消費を減らす“グリーンICT”への取り組みに注力しています。電気通信はエネルギーがないと何もできない産業ですから、自ら節電に取り組み、使命としてエネルギー消費を減らしていかなければなりません。従って、電力への依存度を下げることや低消費電力化に向けた研究開発にも注力しており、例えばONU（光回線終端装置）の低消費電力化に取り組んできました。さらに、ネットワークの高信頼化や消費電力の削減、通信サービス復旧の迅速化を目的とした研究開発についても継続して取り組んでいかなければならないと考えています。また、これからは太陽光発電装置を各家庭や学校などが設置し、自身で使うエネルギーを生み出し、余ったエネルギーを販売する事例も拡大していくと考えられます。電気自動車の普及なども進めば、エネルギーを作る所、使う所が今まで以上に広範囲にわたるようになります。それをリアルタイムに制御するにはICTが一番適していますので、こういったところでNTTの技術力を発揮したいと考えています。

今後のNTTのR&Dを進めるにあたっての抱負をお聞かせください。

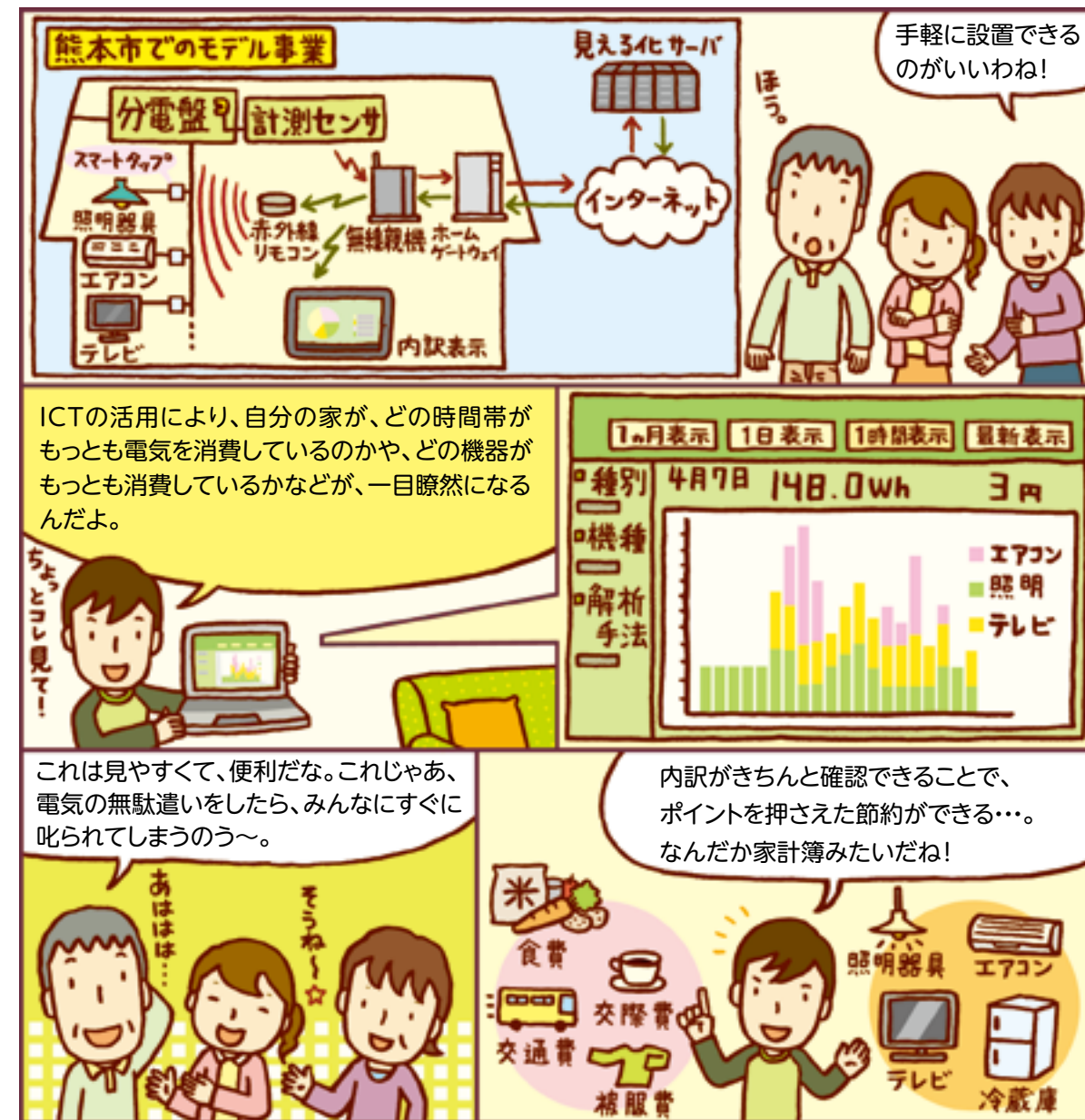
新中期経営戦略では、NTTグループがお客様から選ばれ続ける“バリューパートナー”となることを掲げています。クラウドやビッグデータという新しい技術が、世の中を大きく変え得る存在になっており、NTTグループもこの分野で、お客様にパートナーとして選ばれるだけの価値を提供したいと考えています。クラウドサービスについては、NTTグループの持つ音声認識や言語処理技術を活用し、「しゃべってコンシェル」などの具体的サービスの提供につながるような研究開発を進めてきました。今後もNTTグループのR&Dを結集し、具体的なサービスを世の中に出していくための研究開発を加速していく考えです。このため、NTTグループのR&Dは、自社の研究開発力だけに頼る自前主義に固執せず、時には外の知恵も借りる、いわゆる「オープンイノベーション」*の推進を積極的に図っていきたいと考えています。オープンイノベーションを推進し、自社が保有する技術・知的財産と他社が持つ技術・知的財産を組み合わせることで、これまで以上に革新的で魅力あふれるサービスの提供を行っていきます。

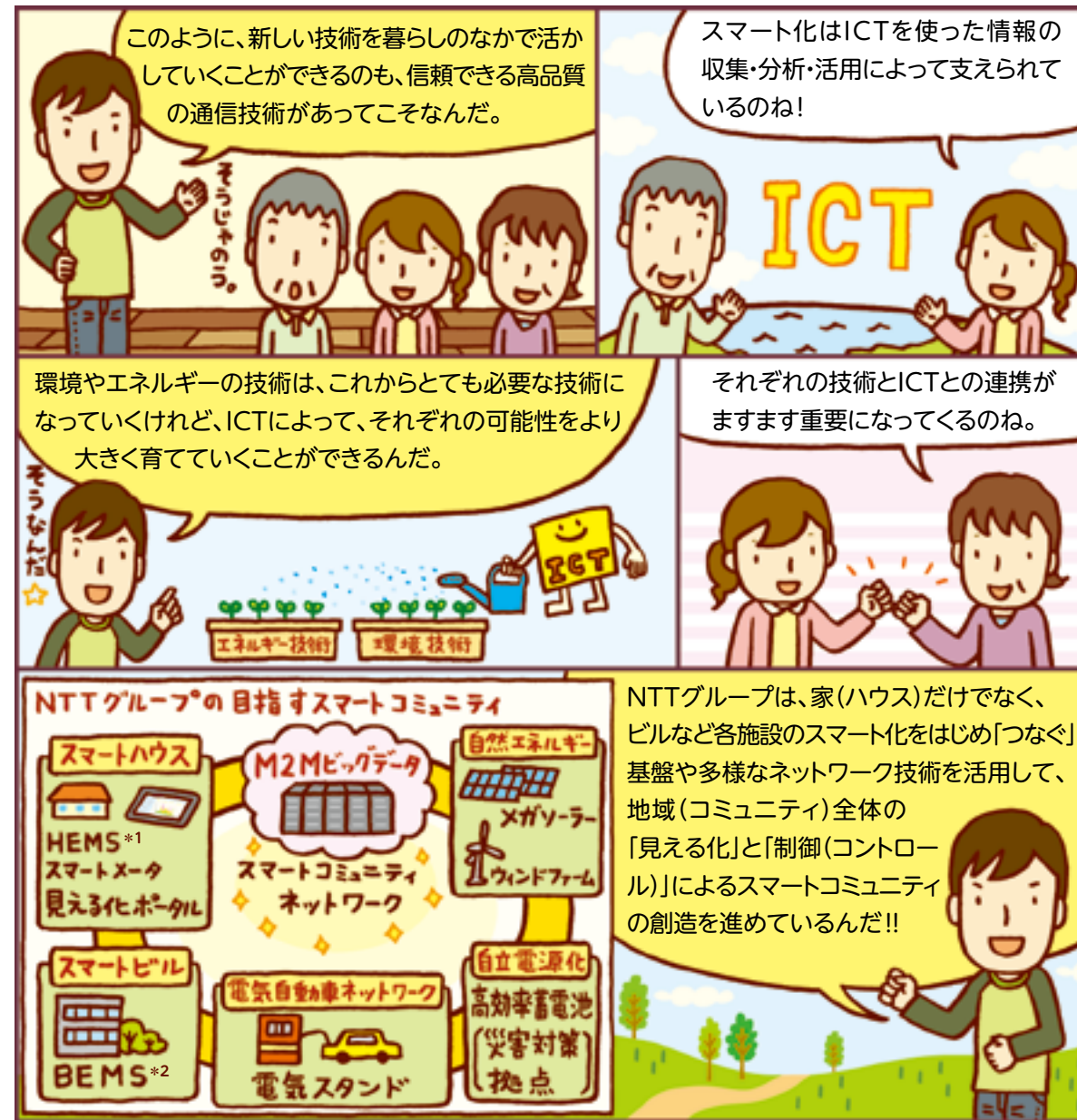
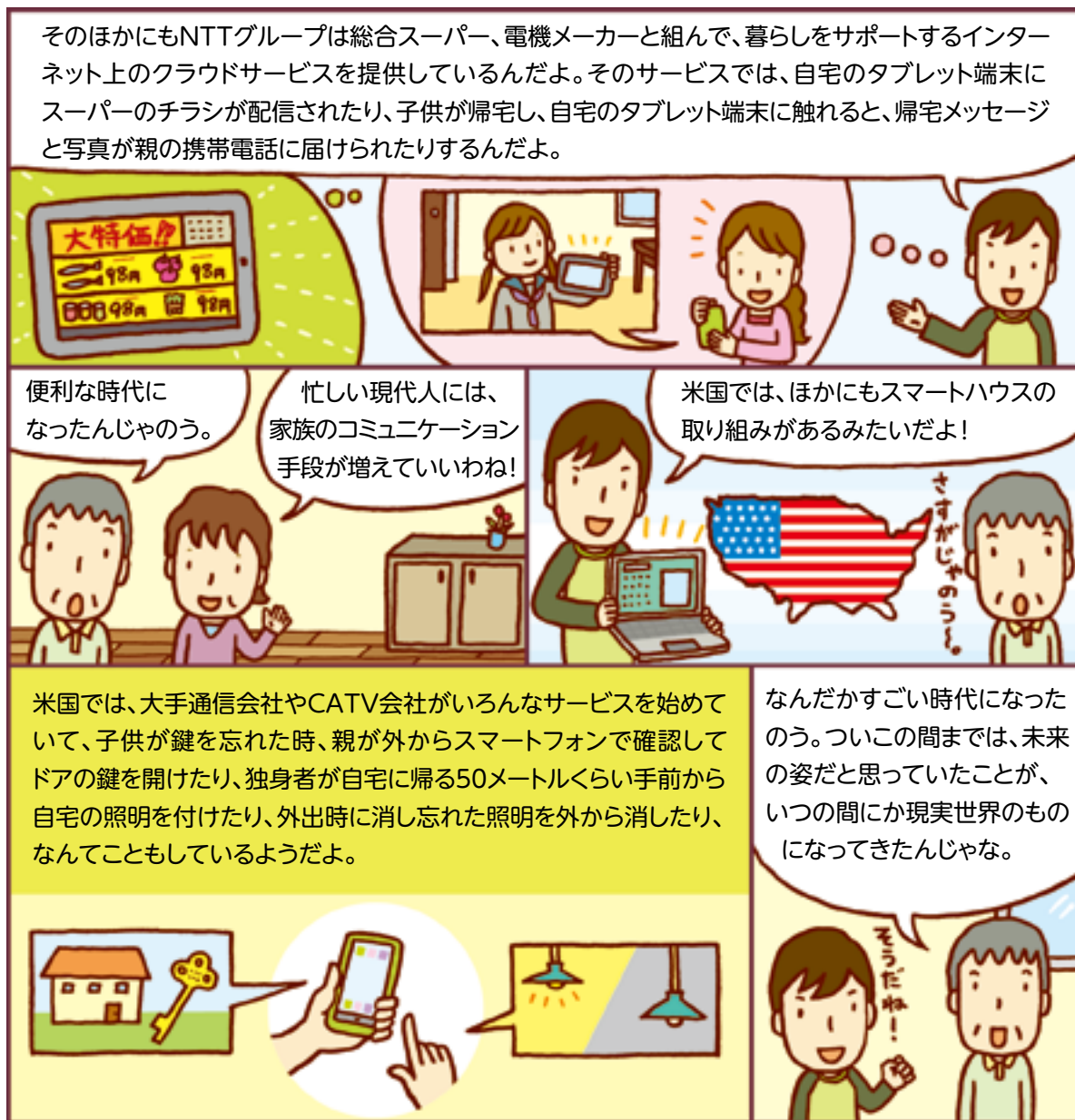
* オープンイノベーション…新技術・新製品の開発に際して、組織の枠組みをこえ、広く知識・技術の結集を図ること。

■世界最高密度の多心光ファイバケーブル



NTTグループでは、ICT (情報通信技術) の利活用の機会拡大に向けて取り組みを強化しております。ここではその一環として、「研究開発」に関する取り組みについてご紹介します。





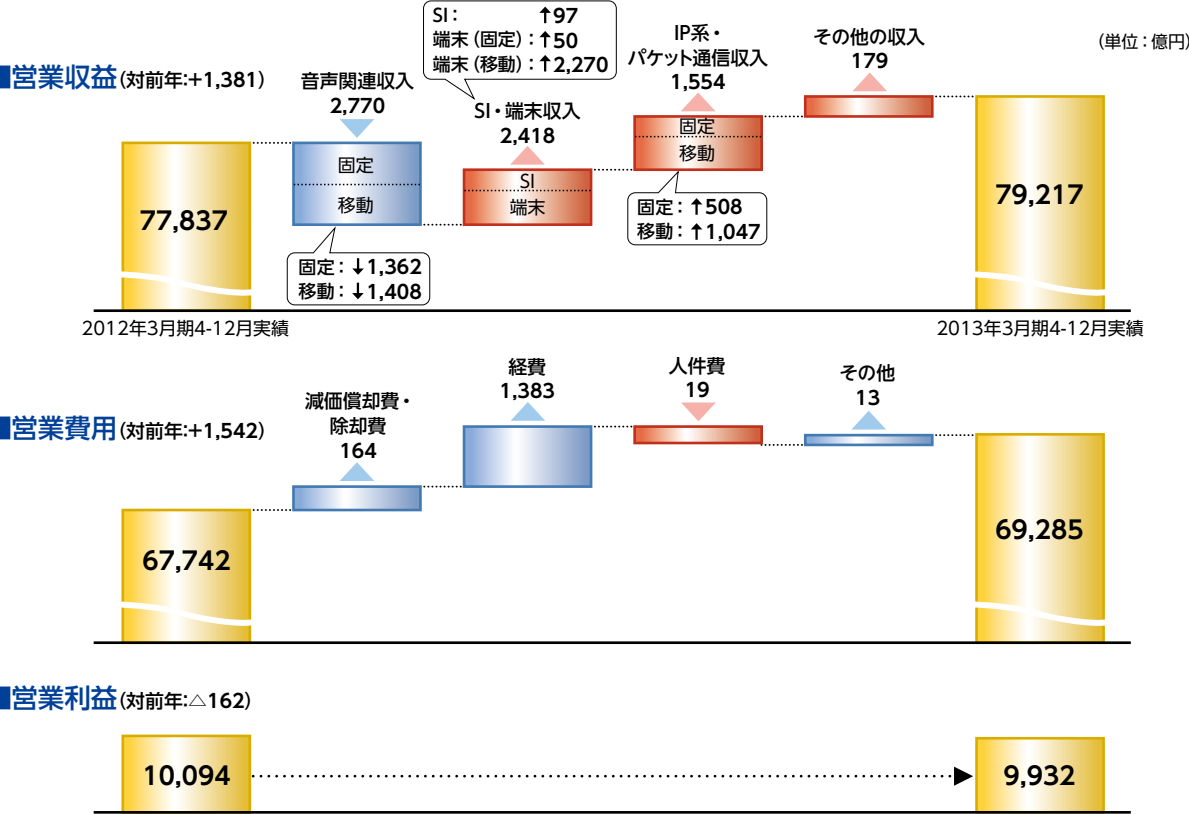
*1 HEMS (Home Energy Management System) …家庭におけるエネルギー管理を支援するシステムのこと。

*2 BEMS (Building and Energy Management System) …室内環境とエネルギー性能を最適化し、経済的で安全なビル運用を支援するシステム、ビルエネルギー管理システム。

第3四半期(累計)の決算概要

- ▶ 営業収益は前年同期と比べ1,381億円 (1.8%) 増加の7兆9,217億円
 - ・スマートフォン販売数の拡大により端末収入などが増加
- ▶ 営業費用は前年同期と比べ1,542億円 (2.3%) 増加の6兆9,285億円
- ▶ 営業利益は前年同期と比べ162億円 (1.6%) 減少の9,932億円
 - ・営業利益は減益であるものの、第3四半期単独では増益

前年同期比増減の内訳(科目別)



本誌に記載されている予想数値および将来の見通しは、不確定性・不確実性を含んでおり、実際の業績などにつきましては、今後の経済や情報通信業界内外の動向、新たな技術・サービスや料金水準などにより変動することがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。

連結および主要な会社別損益状況

NTT連結とは、NTTグループ連結子会社818社、持分法適用会社102社の連結決算を表しています。
ここでは、主な5社として、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモを掲載しております。

(単位: 億円)

区 分	NTT連結 *1 NTT	NTT東日本 *1 NTT東日本	NTT西日本 *1 NTT西日本	NTT コミュニケーションズ *1 NTT Communications	NTTデータ *1 NTT DATA	NTTドコモ *1 docomo
営業収益	79,217	13,646	12,085	6,997	9,118	33,708
(対前年増減額)	(1,381)	(△152)	(△390)	(△288)	(230)	(1,966)
(対前年増減率)	(1.8%)	(△1.1%)	(△3.1%)	(△4.0%)	(2.6%)	(6.2%)
(通期業績予想)	(108,100)	(18,580)	(16,450)	(9,550)	(12,800)	(45,200)
(進捗率)	(73.3%)	(73.4%)	(73.5%)	(73.3%)	(71.2%)	(74.6%)
営業費用	69,285	13,036	11,903	6,058	8,629	26,686
(対前年増減額)	(1,542)	(△294)	(△255)	(△419)	(255)	(2,382)
(対前年増減率)	(2.3%)	(△2.2%)	(△2.1%)	(△6.5%)	(3.1%)	(9.8%)
(通期業績予想)	(96,100)	(17,930)	(16,050)	(8,550)	(11,950)	(37,000)
(進捗率)	(72.1%)	(72.7%)	(74.2%)	(70.9%)	(72.2%)	(72.1%)
営業利益	9,932	609	182	939	488	7,022
(対前年増減額)	(△162)	(142)	(△135)	(131)	(△25)	(△416)
(対前年増減率)	(△1.6%)	(30.4%)	(△42.5%)	(16.2%)	(△4.9%)	(△5.6%)
(通期業績予想)	(12,000)	(650)	(400)	(1,000)	(850)	(8,200)
(進捗率)	(82.8%)	(93.8%)	(45.7%)	(93.9%)	(57.5%)	(85.6%)
税引前利益	9,857	*2 810	*2 267	*2 1,056	*2 447	6,992
(対前年増減額)	(△252)	(179)	(△133)	(126)	(△23)	(△449)
(対前年増減率)	(△2.5%)	(28.6%)	(△33.3%)	(13.6%)	(△5.1%)	(△6.0%)
(通期業績予想)	(11,700)	(850)	(500)	(1,100)	(780)	(8,140)
(進捗率)	(84.2%)	(95.3%)	(53.6%)	(96.1%)	(57.4%)	(85.9%)
四半期純利益	*3 4,473	522	219	714	220	*4 4,165
(対前年増減額)	(881)	(299)	(35)	(188)	(56)	(219)
(対前年増減率)	(24.5%)	(133.9%)	(19.1%)	(35.9%)	(34.6%)	(5.5%)
(通期業績予想)	(5,300)	(500)	(400)	(670)	(380)	(5,070)
(進捗率)	(84.4%)	(104.6%)	(54.8%)	(106.6%)	(58.0%)	(82.1%)

*1 当社およびNTTドコモは米国基準(連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準(単独)、NTTデータは国内基準(連結)に準拠して作成しております。

*2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

*3 NTT連結の四半期純利益は、当社に帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

*4 NTTドコモの四半期純利益は、NTTドコモに帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

TOPICS

「フレッツ光」の更なる利用拡大に向けた取り組みを開始

- ・「思いっきり割」(NTT東日本)
- ・「光もっと²割」(NTT西日本)

NTT東日本

NTT西日本

NTT東日本およびNTT西日本では2012年12月1日より、「フレッツ光」の利用拡大を目的として、月額利用料の割引に関する取り組みを開始しました。

NTT東日本

2012年12月1日から2013年4月30日の間に新たに「フレッツ光」をご契約いただいたお客様を対象に、過去最大級の割引キャンペーン「思いっきり割」を実施しています。

「思いっきり割」では、戸建住宅向けのサービス(ファミリータイプ等)で945円(税込)、集合住宅向けのサービス(マンションタイプ等)で最大1,165.5円(税込)を月額利用料から24ヶ月間割り引きます。

NTT西日本

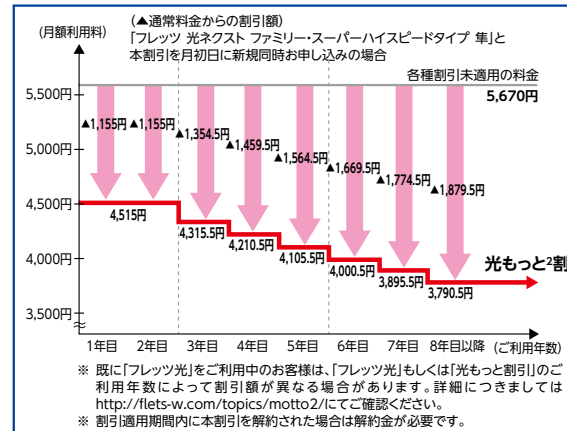
2012年12月1日から「フレッツ光」のご利用年数に応じて月額利用料を割り引く「光もっと²割」の提供を開始しました。

「光もっと²割」をお申し込みいただくと、「フレッツ 光ネクスト ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 準」(戸建住宅向けのサービス)をご利用の場合、月額利用料から1,155円(税込)～1,879.5円(税込)割り引きます。

■月額利用料(税込)イメージ



■「光もっと²割」適用時の月額利用料(税込)イメージ



TOPICS

ミャンマー子会社の営業開始

NTT DATA

NTTデータは、経済発展の潜在力を持つミャンマーに子会社NTT DATA Myanmar Co., Ltd.を設立し、2012年11月8日より営業開始いたしました。今後、NTTデータのアジア地域における新たなシステム開発拠点として、5年後に従業員500名の体制を整備します。

背景

NTTデータは、これまでに中国、インド、ベトナムに、日本向けのシステム開発(対日オフショア開発)拠点を置いています。ミャンマーは、昨今民主化の進展が著しく、日系企業の進出が加速しているところですが、IT分野においても高いポテンシャルを有していることから、新たに拠点を設立することといたしました。優秀な人材が豊富であり、低コストで確保可能なこと、ミャンマー語と日本語の類似性から日本語の習得が容易であることなどから、対日オフショア開発拠点として多くの利点を有しています。

一方、オフショア開発拠点開設に伴い、現地従業員を採用することで雇用を創出し、また現地コンピュータ大学との連携によりIT人材の育成に貢献し、ミャンマー経済の近代化、発展に寄与します。

NTTデータは、NTT DATA Myanmar Co., Ltd.を日本からのソフトウェア開発の受託を中心としたオフショア開発拠点として位置付けるとともに、日本からミャンマーに進出した企業のサポートや、当社の国内実績を踏まえた現地金融機関・官公庁向けビジネスの展開について活用することも視野に入れています。

会社情報

1. 会社名称および代表者
 会社名称：NTT DATA Myanmar Co., Ltd.
 代表者：堀川 雅紀(代表取締役社長)
2. 資本金
 330万USドル
3. 事業内容
 システム設計・開発
4. 出資者
 NTT DATA Asia Pacific Pte. Ltd.
 株式会社NTTデータ



NTTグループ会社のなかから、NTTファシリティーズをご紹介します。

株式会社NTTファシリティーズ



100年におよぶ日本の電気通信の歩みを「ICT」「エネルギー」「建築」の3つの分野を融合した技術でサポートしてきたNTTファシリティーズは、環境に配慮した建物、設備、エネルギーをトータルに手がける企業として、環境に優しくスマートで安心安全な街づくりを進めています。今回は、現在大きな注目を集めている取り組みの1つをご紹介します。

メガワット級太陽光発電システムの総合プロデュース

NTTファシリティーズは半世紀にわたり太陽光発電システムを構築してきた会社です。建築とエネルギーの技術を活用し、2011年度末時点で全国910ヶ所・累計34MW（メガワット）（家庭用電力換算で約1万世帯分の電力に相当）の国内最大級の太陽光発電システム導入実績があります。これらを通じて培った多くのノウハウを活かし、今後も様々な施設や土地への導入を推進してまいります。

導入実績の一例

●大規模太陽光発電所
コスト低減、発電量の最大化により、確実な運用を実現し、更なる事業性を追求



プロロジスパーク座間（神奈川県）

会社概要

社名	株式会社NTTファシリティーズ	資本金	124億円
本社所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦3-4-1 グランパークタワー	代表取締役社長	筒井 清志
URL	http://www.ntt-f.co.jp/	主な事業	建築物・電力設備のコンサルティング、企画、設計、保守、維持管理等
設立日	1992年（平成4年）12月1日		

「個人投資家の皆様向けホームページ」のご案内

「個人投資家の皆様向けホームページ」内に、数多くのご要望をいただいております。「NTTグループ会社の紹介」ページをご用意しています。

「個人投資家の皆様向けホームページ」はこちら
<http://www.ntt.co.jp/ir/>

NTT IR

検索



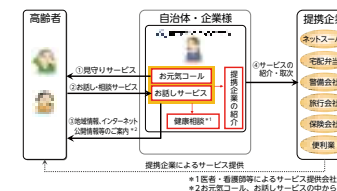
NTTグループの主なニュースをご紹介します。

10 October

➡「うつつして翻訳」サービスの提供開始～外国語の料理メニューや看板などにスマートフォンのカメラをかざすだけで、その日本語訳を画面にすばやく表示～（NTTドコモ）

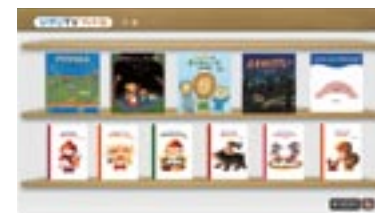


➡シニア向けライフサポートサービスの提供開始～電話による相談・見守り・生活支援サービスで安心・快適な暮らしをサポート～（NTT西日本/NTTマーケティングアクト）

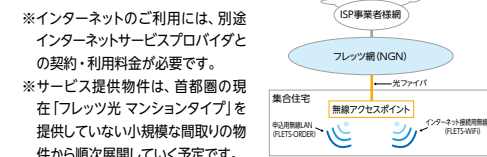


11 November

➡電子書籍サービス「ひかりTVブック」の提供開始～読み聞かせ絵本や写真集がテレビで楽しめる～（NTTぷらら）

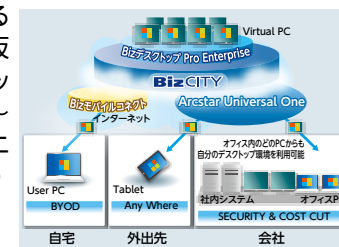


➡小規模集合住宅向け「フレッツ 光WiFiアクセス」の提供開始～アパート等の小規模集合住宅向けの新たな光サービスメニュー月額1,575円（税込）～（NTT東日本）



12 December

➡「Biz デスクトップ Pro Enterprise」の提供開始～オフィスや外出先で同じデスクトップ環境を利用できるクラウド型仮想デスクトップサービス～（NTTコミュニケーションズ）



➡「dゲーム」「dショッピング」の提供開始（NTTドコモ）

dゲーム
大手ゲーム会社様と協業し、厳選したゲームを提供
dショッピング
簡単かつ日常的にご利用いただけるネットショッピング



表紙の絵の国は「シンガポール共和国」です。



株式インフォメーション

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

【証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様】

お取引先の証券会社へお問い合わせください。

【特別口座に当社株式が記録されている株主様】

当社特別口座管理機関の三井住友信託銀行へお問い合わせください。

◎住所・氏名の表記について

住所および氏名などの文字のうち、証券保管振替機構が指定していない漢字などが含まれている場合には、その全部または一部を証券保管振替機構が指定した文字に置き換えさせていただくことができますのでご了承ください。

◎未払配当金の支払について

まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに三井住友信託銀行にお問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせは

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

NTT株主様専用電話：☎0120-584-400

代表電話：☎0120-782-031

株主・投資家の皆様向けホームページ

<http://www.ntt.co.jp/ir/>

■NTT東日本・NTT西日本

「電話サービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

☎116 (局番なし)

午前9時～午後5時 年中無休(ただし年末年始を除く)

「ブロードバンドサービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

☎0120-116-116

NTT東日本：午前9時～午後7時 年中無休(ただし年末年始を除く)

NTT西日本：午前9時～午後9時 年中無休(ただし年末年始を除く)

■NTTコミュニケーションズ

電話・インターネットのサービスに関する
お申し込み・お問い合わせは

☎0120-506-506 コール・コール

午前10時～午後7時 年中無休(ただし年末年始を除く)

■NTTドコモ

総合お問い合わせ先／各種ご注文受付
(ドコモ インフォメーションセンタ)

ドコモの携帯電話からの場合

☎151 (局番なし)

(一般電話などからはご利用になれません。)

一般電話などからの場合

☎0120-800-000

(午前9時～午後8時 年中無休)



この冊子は環境にやさしい植物油インキとFSC®森林認証紙を使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。